第52回東京小諸会総会　会長挨拶　Ｈ２６．１１．１

本日は、皆様ご多用のところご出席頂きまして誠にありがとう御座います。

今年も小諸市からは、柳田市長、山岸県会議員はじめ市の幹部、役員の方々　並びにご来賓の皆様にご出席頂き厚く御礼申し上げます。

東京小諸会は、昭和38年に小山邦太郎さんを初代会長とし発足しました。

以来、歴代の会長、役員はじめ多くの先輩方のご努力により、現在は500名を超える会員を擁するまでに発展して参りました。これからも会員の増員に努め（潜在会員の顕在）伝統ある本会の発展に努力したいと考えています。

お陰様で、今回52回目の総会・懇親会を迎えることが出来ました。

本会の主目的は「会員相互の親睦と郷土の発展に貢献する」ことです。

現在、小諸市も「30年後も持続可能な小諸市をめざして」大きな転換期を迎えており、市民と一体になってまち作りに取り組んでいるそうです。

まちが発展する為には、居住人口の増加、交流人口の増加が望まれるところですが、私達が協力出来ることは、自ら帰省して、ふるさとの良さを

実感して広くＰＲすることにより観光客を誘導して頂くことを提案します。

その為には、受けいれ側としても、小諸観光の「あるべき姿」を描いて

頂きたい。あと一点是非お願いしたいことがあります。それは「ふるさと応援寄付金」に協力して頂きたくお願いします。ご協力頂ければいくらでも良いのですが、５千円以上でしたら「信州小諸ふるさとパスポート」がまた、１万円以上でしたら「信州ふるさと便」としてりんご、ワイン、味噌などの中から希望の品が送付されます。なお、寄付を頂いた皆さんには、「広報こもろ」が毎月送付されます。是非ご賛同頂きふるさと小諸を応援して頂けないでしょうか。

最後に、今年も総会・懇親会の開催に当り、小諸市、（株）香坂建設、常盤館、コミ―（株）三和シヤッター工業（株）のぞみグループ、（株）コトブキ、（株）三ツ和小諸そば事業部、大塚酒蔵（株）、信州味噌（株）マンズワイン（株）サッポロビール（株）また新規に（株）ツルヤ、草笛菖蒲庵、つるやホテル、中棚荘、布引温泉こもろ、大池りんご園、尾沼りんご園、小諸お人形さんめぐり実行委員会様等にまた例年に倣い本会の役員有志の方々にもご賛同頂きました。改めて，厚く御礼申し上げます。

お願いばかりで恐縮ですが、ご挨拶とさせて頂きます。

懇親会での開宴あいさつ

只今より懇親会に移りたいと思います。一人でも多くの方々と話され、懇親を深めて頂きたいと思います。知合いの中で本日出席されていない人が居られましたら是非、本日の内容を話されて次回お誘いください。

また、小諸市へ会報を１５０部送付して各区長さん宛てに配布して頂き東京小諸会の存在を知って頂くと共にこれから東京方面に転居される人、既にこちらにおられる人に呼び掛けて頂ける様にお願いしています。

「銀座ＮＡＧＮＯアンテナショップ」「ふるさと寄付」「新刊の宣伝」など会員の皆様も帰省した折には、賛同企業さんにお礼をお伝え下さい。